

従来型及びオミクロン対応ワクチンの効果について

1. 従来型のワクチンに関する国の主な説明

- ・従来株に対して発症を予防する高い効果があり、また、感染や重症化を予防する効果も確認されている。
- ・時間の経過とともに感染予防効果や発症予防効果が徐々に低下する可能性はあるが、重症化予防効果は比較的高く保たれている。
- ・しかしながら、接種完了から半年以降で重症例の発生率に上昇傾向が見られたという例もあり、より長期的な効果の持続期間については、今後も引き続き集積される様々なデータを確認していく必要がある。
- ・オミクロン株に対する発症予防等の効果はこれまでの株と比較して低く、2回目接種後経時的に低下する。

2. オミクロン対応ワクチンに関する国の主な説明

- ・オミクロン株の成分が含まれるため、現在、感染の主流となっているオミクロン株に対する、重症化予防効果、感染・発症予防効果それぞれに寄与する免疫をより強く誘導し、亜系統の違いに関わらず、1価の従来型ワクチンを上回る重症化予防効果があることが期待される。
- ・短い期間である可能性はあるものの、オミクロン株に対する発症予防効果や感染予防効果も期待される。
- ・抗原性の異なる2種類の抗原が提示されることになり、誘導される免疫も、より多様な新型コロナウイルスに反応する。そのため、今後の変異株に対して有効である可能性がより高いことが期待される。

【参考】年代別新規感染者とその接種状況（令和4年7月1日～8月22日）

（単位：人）

	人口 R4.1.1	新規 感染者数	感染者 割合	新規感染者の接種回数（接種対象：5歳以上）						
				対象外 (4歳以下)	0回	1回	2回	3回	4回	不明
10歳未満	65,591	11,141	17.0%	4,509	5,828	72	536	0	0	196
10代	63,588	10,248	16.1%	0	4,493	107	3,739	1,455	0	454
20代	74,629	9,359	12.5%	0	2,446	65	2,287	3,630	16	915
30代	83,405	11,051	13.2%	0	2,305	70	2,879	5,430	35	332
40代	102,234	11,220	11.0%	0	1,763	48	2,550	6,484	53	322
50代	94,370	6,873	7.3%	0	923	24	990	4,636	86	214
60～64歳	44,691	2,681	6.0%	0	256	6	233	1,912	194	80
65歳以上	196,209	8,671	4.4%	0	639	26	382	5,453	1,675	496
計（A）	724,717	71,244	9.8%	4,509	18,653	418	13,596	29,000	2,059	3,009
接種者数（B）				24,388	115,543	122,791	335,059	126,936	計 724,717	
（A） / （B）				18.5%	16.1%	11.4%	8.7%	1.6%		